

ホルスタイン種未経産牛における採胚成績及び採胚後の受胎性に関する調査

愛媛県畜産試験場

山本哲、木下政健、綱崎誠

未経産牛からの採胚（バージンフラッシュ）は、主に優良受精卵の早期確保による改良のスピードアップの目的で実施されており、採胚成績についての検討は数多く報告されている。しかし、採胚後の繁殖成績についての報告は少ない。そこで、平成13~15年度に当場でバージンフラッシュを実施したホルスタイン種未経産牛計11頭の採胚成績および採胚後の繁殖成績についての調査を行った。採胚成績においては、平均採胚月齢14.1ヶ月、回収卵数8.6個及び移植可能胚数6.2個であった。採胚後の繁殖成績においては、平均AI回数1.9回、受胎月齢15.6ヶ月であった。これらのことから、ホルスタイン種未経産牛はバージンフラッシュにより採胚後の受胎性に大きな影響を及ぼされることなく、また供胚牛としても有効に活用できることが示唆された。

畜種：牛、分類：畜産技術